

続く強雨「水、怖い」

熊本、避難所で不安な夜

「経験したことのない」

豪雨に見舞われた熊本県阿蘇市。一夜明けた13日午前も、強い雨は地面をたたき続けた。民家をのみ込んだ土砂崩れ現場では徹夜の捜索が難航。避難所に身を寄せ合った人たちは、先の見えない災害に不安を募らせた。

▼1面参照

■主な被災地の死者と行方不明者の数

		死亡	行方不明
熊本県	阿蘇市	17人	5人
	南阿蘇村	1人	1人
	高森町	なし	1人
大分県竹田市		1人	1人

市立阿蘇体育館では約200人が夜を明かした。同市小里、長尾純子さん(42)は長女(20)や実家の母親、妹ら7人でござ寝した。12日は、ひざ下まで水につかり、避難してきた。

長尾さんは「急いで避難してきたので財布と携帯電話しか持ってきていない。昨夜は眠れなかった」。自宅の片付けに戻ろうとも思ったが「きょうもこんなに降ると、また水が上がってくるのではないかと怖い。早く帰りたい」。

阿蘇市一の宮保健センタ―には12日夜も土砂崩れを

心配した人たちがやって来た。計約230人が避難。2階建ての建物の部屋だけでは入りきれず、廊下にも毛布やマットを敷いて横になる人たちがあふれた。

市内の園田風師さん(69)の長男・太郎ちゃん(2)は

12日夕ごろから発熱し、夜中は一時、約40度まで熱が上がった。夜は廊下に敷いたマットの上で、母の恵美子さん(39)が添い寝をした。「夜は眠りが浅かったせいかわよく寝ています」。廊下で眠りについていたら太郎ちゃんの小さな手を握りながら、風師さんは言った。



住民たちは住宅から泥をかき出すなど後かたづけに追われていた＝13日午前9時13分、熊本市、岩下毅撮影

第二

大津・

大津市立生徒(当時

問題を再調

津市が今月

よる調査柔

せ、11月を

を出す方向

いることが

わかった。

学教授、臨

に委員の人

料を精査し

を得て生徒

を進める。

希望の

アンケ

大津市教

育長は13日

水道工事で

千葉市発注 容疑の社長に

千葉市発注の水道工事の した同市 入札を巡り、千葉県警は13 長(52)ら

求防衛家の

